

## 第1章 道路防災点検業務（安定度調査）積算基準

---

### 第1節 道路災害点検業務（安定度調査）積算基準

#### 1-1 適用範囲

この積算基準は、道路防災点検業務（安定度調査）に適用する。

#### 1-2 業務委託料

「土木設計業務等積算基準」に準ずる。

#### 1-3 業務委託料の積算

「土木設計業務等積算基準」に準ずる。

#### 1-4 設計変更の積算

「土木設計業務等積算基準」に準ずる。

### 第2節 電子成果品作成費

「土木設計業務等積算基準」に準ずる。

### 第3節 道路防災点検業務（安定度調査）標準歩掛

#### 3-1 標準歩掛

##### 3-1-1 計画準備及び資料収集整理

区分	職種	直接人件費						(1 業務当り)
		主任 技術者	技師長	主任 技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	
計画準備及び資料収集整理				1.0	2.0		3.0	3.0

##### 3-1-2 打合せ協議

「土木設計業務等標準積算基準」第4編 調査・計画業務 第1章 調査・計画業務 第1節 共通 1-1 打合せ等による。打合せは、業務着手時、中間打合せ1回、成果物納入時を標準とし、必要に応じて打合せ回数を増減する。打合せ回数を増減する場合は、1回当たり中間打合せ1回の人員を増減する。

##### 3-1-3 安定度調査（外業）

区分	職種	直接人件費						(10 箇所当り)
		主任 技術者	技師長	主任 技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	
落石・崩壊	2,000m <sup>2</sup> 未満				3.0		3.0	3.0
	2,000m <sup>2</sup> 以上 5,000m <sup>2</sup> 未満				4.0		4.0	4.0
	5,000m <sup>2</sup> 以上 10,000m <sup>2</sup> 未満				5.0		5.0	5.0
	10,000m <sup>2</sup> 以上 15,000m <sup>2</sup> 未満				7.5		7.5	7.5
	15,000m <sup>2</sup> 以上 20,000m <sup>2</sup> 未満				8.5		8.5	8.5
	20,000m <sup>2</sup> 以上 30,000m <sup>2</sup> 未満				9.5		9.5	9.5
	30,000m <sup>2</sup> 以上 40,000m <sup>2</sup> 未満				12.0		12.0	12.0
	40,000m <sup>2</sup> 以上 50,000m <sup>2</sup> 未満				15.5		15.5	15.5
岩盤崩壊	2,000m <sup>2</sup> 未満				3.0		3.0	3.0
	2,000m <sup>2</sup> 以上 5,000m <sup>2</sup> 未満				4.5		4.5	4.5
	5,000m <sup>2</sup> 以上 10,000m <sup>2</sup> 未満				6.0		6.0	6.0
	10,000m <sup>2</sup> 以上 15,000m <sup>2</sup> 未満				8.0		8.0	8.0
	15,000m <sup>2</sup> 以上 20,000m <sup>2</sup> 未満				9.0		9.0	9.0
	20,000m <sup>2</sup> 以上 30,000m <sup>2</sup> 未満				9.5		9.5	9.5
	30,000m <sup>2</sup> 以上 40,000m <sup>2</sup> 未満				14.0		14.0	14.0
	40,000m <sup>2</sup> 以上 50,000m <sup>2</sup> 未満				16.5		16.5	16.5
土石流					10.0		10.0	10.0

- (注) 1. 外業箇所数は安定度調査の施設管理番号に準ずる。  
 2. 同一箇所内で点検対象項目が落石・崩壊及び岩盤崩壊それぞれ該当する場合は、外業区分は岩盤崩壊とし、調査箇所は1箇所とする。  
 3. 同一箇所内で安定度調査表を複数作成する場合は、作成した調査表の枚数分の内業箇所数を計上するものとする。  
 4. 安定度調査（外業）の面積は、水平投影面積とする。

## (1) 標準歩掛の補正

## 1) 落石・崩壊、岩盤崩壊

路面からの 高低差	20m 未満 30m 未満	20m 以上 30m 未満	30m 以上 40m 未満	40m 以上 50m 未満	50m 以上 60m 未満	60m 以上 70m 未満	70m 以上 80m 未満	80m 以上 90m 未満	90m 以上 100m 未満
補正係数	0.90	1.00	1.05	1.10	1.15	1.20	1.25	1.30	1.35
路面からの 高低差	100m 以上 110m 未満	110m 以上 120m 未満	120m 以上 130m 未満	130m 以上 140m 未満	140m 以上 150m 未満	150m 以上 160m 未満	160m 以上 170m 未満	170m 以上 180m 未満	180m 以上 190m 未満
補正係数	1.40	1.45	1.50	1.55	1.60	1.65	1.70	1.75	1.80
路面からの 高低差	190m 以上 200m 未満	200m 以上 210m 未満	210m 以上 220m 未満	220m 以上 230m 未満	230m 以上 240m 未満	240m 以上 250m 未満	250m 以上 260m 未満	260m 以上 270m 未満	270m 以上 280m 未満
補正係数	1.85	1.90	1.95	2.00	2.05	2.10	2.15	2.20	2.25
路面からの 高低差	280m 以上 290m 未満	290m 以上 300m 未満							
補正係数	2.30	2.35							

## 2) 土石流

点検対象 面積	5,000m <sup>2</sup> 未満 10,000m <sup>2</sup> 未満	5,000m <sup>2</sup> 以上 15,000m <sup>2</sup> 未満	10,000m <sup>2</sup> 以上 20,000m <sup>2</sup> 未満	15,000m <sup>2</sup> 以上 25,000m <sup>2</sup> 未満	20,000m <sup>2</sup> 以上 30,000m <sup>2</sup> 未満	25,000m <sup>2</sup> 以上 30,000m <sup>2</sup> 未満
補正係数	0.90	1.00	1.00	1.10	1.20	1.30
点検対象 面積	30,000m <sup>2</sup> 以上 40,000m <sup>2</sup> 未満	40,000m <sup>2</sup> 以上				
補正係数	1.40	1.50				

(注) 1. 点検対象面積は、箇所当たりの流域面積とする。

## 3-1-4 安定度調査（内業）

(10 箇所当たり)

区分	職種	直接人件費					
		主任 技術者	技師長	主任 技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)
安定度調査表作成					1.5		3.0
							3.0

(注) 1. 箇所別記録表の作成を含む。

2. 同一箇所内で安定度調査表を複数作成する場合は、作成した調査表の枚数分の内業箇所数を計上するものとする。

## 3-1-5 防災カルテの作成（外業）

(10 箇所当たり)

区分	職種	直接人件費					
		主任 技術者	技師長	主任 技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)
落石・崩壊						2.5	
岩盤崩壊						2.5	
土石流						2.0	
							2.0

(注) 1. 外業箇所数は安定度調査の施設管理番号に準ずる。

## 3-1-6 防災カルテの作成（内業）

(10 箇所当たり)

区分	職種	直接人件費					
		主任 技術者	技師長	主任 技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)
防災カルテの作成					1.5		3.0
							3.0

(注) 1. 内業箇所数は安定度調査の施設管理番号に準ずる。

## 3-1-7 整理取りまとめ

(100箇所当り)

区分	職種	直接人件費					
		主任 技術者	技師長	主任 技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)
整理取りまとめ					1.0		4.0
							6.0

(注) 1. 取りまとめ箇所数は安定度調査の施設管理番号に準ずる。